

第8回世界俳句協会大会

4 事業の実施内容及び実績に関する報告書

① プログラム

テーマ 無限の対話

俳句という短詩には、もともと矛盾した要素が混在するので、対話が内蔵されている。さらに今日、俳句創作は世界に広まり、諸言語・諸文化のあいだの対話の重要な媒介となっている。この大会では、俳句を起点として諸言語、諸文化、諸ジャンルとの対話を試みたい。

会場 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー

● 2015年9月4日(金) 前夜祭 18時～20時 明治大学宮城浩蔵ホール

司会 清水国治

開会の辞 夏石番矢(日本)

挨拶 伊丹三樹彦(日本、代読) ボー・リラ(デンマーク) 堀浩哉(日本) 林誠司(日本) 山口政信(日本)

音楽演奏 雅楽 中村香奈子(日本) 音無史哉(日本) 笛 山田耕司(日本)

俳句朗読 ウルジン・フレルバートル(モンゴル) アブデルカデール・ジャムッスイ(モロッコ) ロマーノ・ゼラスキ(イタリア) 徐一平(中国) 鎌倉佐弓(日本) ラウル・オルティス＝ベタンクール(コロンビア) そねだゆ(日本) 夏石番矢(日本)

● 2015年9月5日(土) 大会初日 9時30分～ 明治大学リバティホール

司会 夏石番矢

9時30分～10時30分 世界俳句協会会議

10時30分～11時20分 俳句朗読1 ウルジン・フレルバートル(モンゴル) ボー・リラ(デンマーク) セルギー・クルバトフ(ウクライナ) 長嶺千晶(日本) E・ボルド(内モンゴル) 生駒大祐(日本)

11時20分～11時40分 講演1 フランス語圏などの俳句 小川静枝(日本)

11時40分～12時30分 昼休み

司会 木村聡雄

12時30分～14時 女性俳句セッション 女性俳句の特色 講演2～6 鎌倉佐弓(日本) 長嶺千晶(日本) 梶原由紀(日本) ズラトカ・ティムノヴァ(ポルトガル) レー・ティビン(ベトナム)

14時～14時40分 俳句朗読2 ラウル・オルティス＝ベタンクール(コロンビア) ジェームス・シェイ(米国) 竹凡(日本) 会津太郎(日本) P・ツォグトナラン(内モンゴル) レフ・シエグウォフスキ(ポーランド) 木村聡雄(日本) エルデネ・ルヴサンチュルテン(モンゴル)

14時40分～15時 講演7 謡曲における言葉と節の関係に潜む美意識 梅若猶彦(日本)

15時～15時40分 特別講演 世界的総合芸術としての俳句 平川祐弘(日本)

15時40分～16時 講演8 円環的諸影響—翻訳における俳句 ジェームス・シェイ(米国)

16時～16時30分 休憩

司会 仙田洋子

16時30分～16時50分 講演9 日本の古典俳句 上野一孝(日本)

16時50分～17時10分 講演10 モンゴル語俳句 ウルジン・フレルバートル(モンゴル)

17時10分～17時30分 講演11 ベトナム語俳句 デイン・ニャットハイン(ベトナム)

17時30分～17時50分 講演12 ことわざの<わざ> 山口政信(日本)

17時50分～18時10分 講演13 アラビア語圏の俳句 アブデルカデール・ジャムッスイ(モロッコ)

18時10分～19時00分 俳句朗読3 B・ボルドー(内モンゴル・日本) 上野一孝(日本) 鎌倉佐弓(日本)

長嶺千晶(日本) そねだゆ(日本) ロマーノ・ゼラスキ(イタリア) E・ボルド(内モンゴル) 小川静枝(日本) 野谷真治(日本) 金城けい(日本) 石倉秀樹(日本) 仙田洋子(日本)

● 2015年9月6日(日) 大会二日目 9時30分～ 明治大学リバティホール

司会 夏石番矢

9時30分～9時40分 特別俳句朗読 夏石番矢(日本) + 山田耕司(日本)

9時40分～10時30分 俳句朗読4 ボー・リラ(デンマーク) 徐一平(中国) 八木忠栄(日本) ジェームス・シェイ(米国) 山田耕司(日本) デイン・ニャットハイン(ベトナム) 梶原由紀(日本) レー・ティビン(ベトナム) ズラトカ・ティムノヴァ(ポルトガル) 大里満紀(日本) 石倉秀樹(日本)

司会 竹凡

10時30分～10時50分 講演14 デンマーク俳句 ポー・リラ (デンマーク)
10時50分～11時10分 講演15 落語と俳句 八木忠栄
11時10分～11時30分 対話 中国語俳句の音楽性 徐一平 (中国) + 石倉秀樹 (日本)
11時30分～11時40分 「千代田区を詠む」句会 優秀作発表
11時40分～13時10分 昼休み

司会 木村聡雄

13時10分～13時30分 講演16 日本の近代俳句 川名大 (日本)
13時30分～13時50分 講演17 現代俳句の詩学 木村聡雄 (日本)
13時50分～14時10分 舞踏と俳句 蒼浩人 (日本)
14時10分～14時30分 第1回世界俳句協会俳句コンテスト表彰
14時30分～15時 休憩

15時～15時40分 俳句朗読5 P・ツォグトナラン (内モンゴル) 竹凡 (日本) 古田嘉彦 (日本) セルギー・クルバトフ (ウクライナ) 会津太郎 (日本) レフ・シェグウォフスキ (ポーランド) エルデネ・ルヴサンチュルテン (モンゴル) アブデルカデル・ジャムッスイ (モロッコ) 長塚弘 (日本) ほか
15時10分～15時30分 講演18 俳句と画像—世界俳句協会俳画コンテスト 清水国治 (日本)

15時30分～16時00分 休憩

司会 清水国治

16時00分～16時20分 講演19 自由律俳句の音楽性 そねだゆ (日本)
16時20分～16時40分 俳句動画 コヤマエイジ (日本)
16時40分～17時00分 雅楽と俳句 中村香奈子 (日本) + 夏石番矢 (日本)
17時00分～18時00分 多言語連句墨書パフォーマンス 山田耕司 (日本) ウルジン・フレルバータル (モンゴル) 徐一平 (中国) 夏石番矢 (日本) デイン・ニャットハイ (ベトナム) アブデルカデル・ジャムッスイ (モロッコ) 竹凡 (日本) E・ボルド (内モンゴル) 鎌倉佐弓 (日本) ほか希望者全員

● 2015年9月6日 (日) 打ち上げ 18時30分～20時 明治大学宮城浩蔵ホール

司会 竹凡 (日本)

音楽演奏 雅楽 中村香奈子 (日本) 宇佐美仁 (日本) 石坂亥士 (日本)
俳句朗読 山田耕司 (日本) 梶原由紀 (日本) ズラトカ・ティムノヴァ (ポルトガル) レー・ティビン (ベトナム) 渡辺しゅういち (日本) 山本一太郎 (日本)
挨拶 エルデネ・ルヴサンチュルテン (モンゴル) ロマーノ・ゼラスキ (イタリア) 神山睦美 (日本) 清水国治 (日本)
閉会の辞 夏石番矢 (日本)

● 2015年9月6日 (火)～30日 (水)

明治大学中央図書館ギャラリーで「世界の俳句」展を、同図書館により併催。

これらのプログラムを、支障なく遂行した。

② 出演者 14か国53人 参加者 14か国147人

③ 今回の意義と今後の展開

- 1 これまで少なかった、中国、ベトナム、モンゴルなど東アジアからの多数の参加者により、東アジアの言語への広がりや俳句創作の可能性を強めた。
- 2 アラビア語圏からの初の参加者により、アラビア語俳句の歴史が示され、今後の展望が開けた。
- 3 俳句単独だけではなく、動画、雅楽、舞踏、書などとのコラボにより、文化の結節点としての俳句を提示できた。
- 4 落語、能、ことわざなどと俳句との近接や相違を明確にした。
- 5 日本の俳句の、古典、近代、現代のそれぞれの特質に焦点があてられた。
- 6 国内外の女性俳人によって、女性俳句の特色を論じることができた。
- 7 イタリアからの参加者により、第9回世界俳句協会大会が、2017年9月、イタリアのパルマで開催されることが決定し、テーマも「風景」とし、今後の一層の展開が見込まれる。